

高校近況

【生徒間】国際交流の本格化をむかえて

校長 松本 伸吉

三月二十九日から四月十一日まで、月十一日から五月一日まで、聖隷高校キヤマスハイスクール生徒二十名が浜松・細江・聖隷を訪問。又、四月 相互交流を図った。

本校の国際交流も年毎に内容が充実してきている。生徒を中心とした交流が軌道に乗り、国際交流の輪が確実に大きくなっているのは誠にうれしいことです。

今年、約一カ月前に姉妹校と相互訪問の時をもちまして、キヤマスハイスクールの生徒十五名、高校から、はじめて生徒十五名、市から十二名の市民を本校に受け入れ、生徒宅や後援会のお宅にホームステイし、これによって、国際交流が全校生徒のものとなり、キヤマス市民との友好関係が一段

と深められました。彼等が帰国する飛行機に、第二回アメリカ研修旅行の生徒が二十一名同乗し、キヤマス市にまいりました。キヤマス高校も市も、第一回よりよりと



キヤマスでのサヨナラパーティー

私の世界観を変えた

【キヤマス訪問】

母の会 鈴木 清

最近の国際化の波の大ききなるうねりの中にあつて、感性的にはなかなか体感的には得る事はない。事は大変幸せであつたと感謝してゐます。言葉、習慣、環境が異なる中で、何の不自在も感じさせ

聖隷高校とキヤマスハイスクールの国際交流に期待する

キヤマスハイスクール校長 デニス・ゴーン



古都京都を見物したキヤマス訪問団一行

私は聖隷学園高校とキヤマスハイスクールの姉妹校プログラムが、一つの国からもう一つの国へと生徒が単に旅行するのではなく、お互いの文化を学ぶ機会を得ることがあると信じています。これによって、私達は愛するということ、尊敬しあふこと、そして何に信じ人を信頼する心を持つことが、これからの交流を通じて、永遠の友情を築き上げ、生徒達は成長して、そして日本を訪ねる機会をもつようになり、そして何よりも異文化に対する理解を深めていくことです。

卒業生 小田 幸子
コーニーとジーンは十七才の乙女で、少しでも美しい装いをした



コーニーとジーン

高校事業計画

父母の会 今年度方針
会長 花嶋一夫

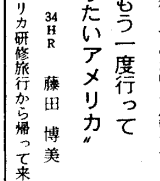
二十一世紀に向けて躍動する聖隷学園としては、生徒がすばらしい先生のもとで、すばらしい生徒として、たくましく成長して行く所がその意義があると生じています。学校行事・生徒生活指導部・体育部・文化部の各専門部が、最近でも意欲的に活動をはじめ、夏休み時における先

今年度後援会活動について
会長 桂田 忠夫
高校の教育は教科の学習だけでなく、生徒の持つ長所や特殊な能力を伸ばすため、課外活動としての部活動やクラブ活動などがあり

第二回 米国研修に参加して
絶えない笑顔と会話
35HR 加藤見乃里
アメリカに行つて何が印象的だったかと言つたら、アメリカ人の気質だと思ひます。

新任者紹介
教諭 風口 和雄
この学園に就任してから、早や二月余りの日数が過ぎようとしています。新しい土地と仕事に、初めは緊張の毎日でしたが、皆様の温かい眼差しにどうやら心もほぐれ、本来の自分を少しずつ出せるようになってまいりました。

クラブ活動報告
（運動クラブ 高校総体西部予選）
男子バレー部 西部予選 二位
サッカー部 県大会 三位
テニス部 西部予選ダブルス 一回戦
テニス部 西部予選ダブルス 一回戦
山古藤組 四回戦
鈴木・新村組 三
西部予選ダブルス 一回戦
若山照彦 四回戦
古藤輝雄 三
田部民夫 三
卓球部 西部予選ダブルス 一回戦
柔道部 西部予選個人戦
小形正彦 ベスト16
陸上同好会 渡辺直久 五位入賞



米、モルトノマの酒にてキヤマス高校生と攝る

もう一度行ってみたいアメリカ
34HR 藤田 博美
アメリカ研修旅行から帰つて来

短大・専攻科・ヘルパー

学ばない学生は整理 大学に厳しさを

学長 長谷川 保

国家試験の結果が、これを信頼して任せたのだが、勉強發表された。助産婦は二〇〇名であったが、一科は八二名、二科は九〇名と成績が悪い。昨年の現役で合格した学生は早くから国試対策を主体的に申し出たので、その

国家試験の結果が、これを信頼して任せたのだが、勉強發表された。助産婦は二〇〇名であったが、一科は八二名、二科は九〇名と成績が悪い。昨年の現役で合格した学生は早くから国試対策を主体的に申し出たので、その

「ゆとり」の必要の話及び、車のアクセラやフレッキーの「あそび」について引用したら、「この頃はカラオケや旅行に行つてあそんでいいよ」とそのお母さんが云われた。

「ゆとり」の必要の話及び、車のアクセラやフレッキーの「あそび」について引用したら、「この頃はカラオケや旅行に行つてあそんでいいよ」とそのお母さんが云われた。

「喘息をおくすので退学したい」といふ学生の両親にお会いした途端に、「母原病」といふ身体の中で叫ぶ声がした。

「喘息をおくすので退学したい」といふ学生の両親にお会いした途端に、「母原病」といふ身体の中で叫ぶ声がした。

病気が際しては、一つの機器のみで病んでいるのではなく、それをもち一人の人間全体が病んでくるのである。その人格の最も深いふれ合いの場こそターミナルケアの場である。困難な仕事ではあるが、医師、看護婦にとつて、なにか光ある仕事場はない。

病気が際しては、一つの機器のみで病んでいるのではなく、それをもち一人の人間全体が病んでくるのである。その人格の最も深いふれ合いの場こそターミナルケアの場である。困難な仕事ではあるが、医師、看護婦にとつて、なにか光ある仕事場はない。

「わたしはこう祈る」――パウロはこの言葉によって二つのことを考えている。一つは、自分はクリスチャンである。クリスチャンは祈りをどう考えるか、で彼は、私は、「あなたのために祈るに神に頼るの祈りをしていよう」といふことである。

「わたしはこう祈る」――パウロはこの言葉によって二つのことを考えている。一つは、自分はクリスチャンである。クリスチャンは祈りをどう考えるか、で彼は、私は、「あなたのために祈るに神に頼るの祈りをしていよう」といふことである。

「わたしはこう祈る」――パウロはこの言葉によって二つのことを考えている。一つは、自分はクリスチャンである。クリスチャンは祈りをどう考えるか、で彼は、私は、「あなたのために祈るに神に頼るの祈りをしていよう」といふことである。

「わたしはこう祈る」――パウロはこの言葉によって二つのことを考えている。一つは、自分はクリスチャンである。クリスチャンは祈りをどう考えるか、で彼は、私は、「あなたのために祈るに神に頼るの祈りをしていよう」といふことである。

「わたしはこう祈る」――パウロはこの言葉によって二つのことを考えている。一つは、自分はクリスチャンである。クリスチャンは祈りをどう考えるか、で彼は、私は、「あなたのために祈るに神に頼るの祈りをしていよう」といふことである。

「わたしはこう祈る」――パウロはこの言葉によって二つのことを考えている。一つは、自分はクリスチャンである。クリスチャンは祈りをどう考えるか、で彼は、私は、「あなたのために祈るに神に頼るの祈りをしていよう」といふことである。

特集 短大の現況と展望を語る

短大の過去・現在・未来

一般教員 山田 基男

短大の過去、現在、未来。一般教員 山田 基男。短大の過去、現在、未来。一般教員 山田 基男。

短大の過去、現在、未来。一般教員 山田 基男。短大の過去、現在、未来。一般教員 山田 基男。

学生の才能を伸ばす教育を

基礎専門室長 八田 亨一

基礎専門室長 八田 亨一。学生の才能を伸ばす教育を。基礎専門室長 八田 亨一。

基礎専門室長 八田 亨一。学生の才能を伸ばす教育を。基礎専門室長 八田 亨一。

学科的質の向上を目指す

学科学長 柴田 敏子

学科学長 柴田 敏子。学科的質の向上を目指す。学科学長 柴田 敏子。

学科学長 柴田 敏子。学科的質の向上を目指す。学科学長 柴田 敏子。

学科学長 柴田 敏子。学科的質の向上を目指す。学科学長 柴田 敏子。

学科学長 柴田 敏子。学科的質の向上を目指す。学科学長 柴田 敏子。

学科学長 柴田 敏子。学科的質の向上を目指す。学科学長 柴田 敏子。

学科学長 柴田 敏子。学科的質の向上を目指す。学科学長 柴田 敏子。

学科学長 柴田 敏子。学科的質の向上を目指す。学科学長 柴田 敏子。

学科学長 柴田 敏子。学科的質の向上を目指す。学科学長 柴田 敏子。

学科学長 柴田 敏子。学科的質の向上を目指す。学科学長 柴田 敏子。

学科学長 柴田 敏子。学科的質の向上を目指す。学科学長 柴田 敏子。

学科学長 柴田 敏子。学科的質の向上を目指す。学科学長 柴田 敏子。

学科学長 柴田 敏子。学科的質の向上を目指す。学科学長 柴田 敏子。

学科学長 柴田 敏子。学科的質の向上を目指す。学科学長 柴田 敏子。

学科学長 柴田 敏子。学科的質の向上を目指す。学科学長 柴田 敏子。

顔

専攻科主任 内山 和美

専攻科主任 内山 和美。顔。専攻科主任 内山 和美。

専攻科主任 内山 和美。顔。専攻科主任 内山 和美。

母性研究

母性研究室長 長谷川 充子

母性研究室長 長谷川 充子。母性研究。母性研究室長 長谷川 充子。

母性研究室長 長谷川 充子。母性研究。母性研究室長 長谷川 充子。

自らが姿勢を

成人研究室長 長谷川 充子

成人研究室長 長谷川 充子。自らが姿勢を。成人研究室長 長谷川 充子。

成人研究室長 長谷川 充子。自らが姿勢を。成人研究室長 長谷川 充子。

成人研究室長 長谷川 充子。自らが姿勢を。成人研究室長 長谷川 充子。

成人研究室長 長谷川 充子。自らが姿勢を。成人研究室長 長谷川 充子。

成人研究室長 長谷川 充子。自らが姿勢を。成人研究室長 長谷川 充子。

成人研究室長 長谷川 充子。自らが姿勢を。成人研究室長 長谷川 充子。

成人研究室長 長谷川 充子。自らが姿勢を。成人研究室長 長谷川 充子。

成人研究室長 長谷川 充子。自らが姿勢を。成人研究室長 長谷川 充子。

成人研究室長 長谷川 充子。自らが姿勢を。成人研究室長 長谷川 充子。

成人研究室長 長谷川 充子。自らが姿勢を。成人研究室長 長谷川 充子。

成人研究室長 長谷川 充子。自らが姿勢を。成人研究室長 長谷川 充子。

成人研究室長 長谷川 充子。自らが姿勢を。成人研究室長 長谷川 充子。

成人研究室長 長谷川 充子。自らが姿勢を。成人研究室長 長谷川 充子。

成人研究室長 長谷川 充子。自らが姿勢を。成人研究室長 長谷川 充子。

ナイチンゲール祭を終わって

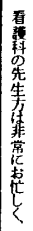
看護観や思想の探究を深めて

看護観や思想の探究を深めて。ナイチンゲール祭を終わって。看護観や思想の探究を深めて。

看護観や思想の探究を深めて。ナイチンゲール祭を終わって。看護観や思想の探究を深めて。

ナイチンゲール祭の風景

ナイチンゲール祭の様子



ナイチンゲール祭を終わって

看護観や思想の探究を深めて

看護観や思想の探究を深めて。ナイチンゲール祭を終わって。看護観や思想の探究を深めて。

看護観や思想の探究を深めて。ナイチンゲール祭を終わって。看護観や思想の探究を深めて。

看護観や思想の探究を深めて。ナイチンゲール祭を終わって。看護観や思想の探究を深めて。

看護観や思想の探究を深めて。ナイチンゲール祭を終わって。看護観や思想の探究を深めて。

看護観や思想の探究を深めて。ナイチンゲール祭を終わって。看護観や思想の探究を深めて。

看護観や思想の探究を深めて。ナイチンゲール祭を終わって。看護観や思想の探究を深めて。

看護観や思想の探究を深めて。ナイチンゲール祭を終わって。看護観や思想の探究を深めて。

看護観や思想の探究を深めて。ナイチンゲール祭を終わって。看護観や思想の探究を深めて。

看護観や思想の探究を深めて。ナイチンゲール祭を終わって。看護観や思想の探究を深めて。

看護観や思想の探究を深めて。ナイチンゲール祭を終わって。看護観や思想の探究を深めて。

看護観や思想の探究を深めて。ナイチンゲール祭を終わって。看護観や思想の探究を深めて。

看護観や思想の探究を深めて。ナイチンゲール祭を終わって。看護観や思想の探究を深めて。

看護観や思想の探究を深めて。ナイチンゲール祭を終わって。看護観や思想の探究を深めて。

看護観や思想の探究を深めて。ナイチンゲール祭を終わって。看護観や思想の探究を深めて。

聖書のことは

われらの祈り

われらの祈り。聖書のことは。われらの祈り。

われらの祈り。聖書のことは。われらの祈り。

神の栄光のために

教授 教師 西村 一之

教授 教師 西村 一之。神の栄光のために。教授 教師 西村 一之。

教授 教師 西村 一之。神の栄光のために。教授 教師 西村 一之。

われらの祈り

教授 教師 西村 一之

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

成人研究室 原田千代子

助産婦専攻科 松本 友子

助産婦専攻科 松本 友子。成人研究室 原田千代子。助産婦専攻科 松本 友子。

助産婦専攻科 松本 友子。成人研究室 原田千代子。助産婦専攻科 松本 友子。

聖書のことは

われらの祈り

われらの祈り。聖書のことは。われらの祈り。

われらの祈り。聖書のことは。われらの祈り。

われらの祈り

教授 教師 西村 一之

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

われらの祈り。教授 教師 西村 一之。われらの祈り。

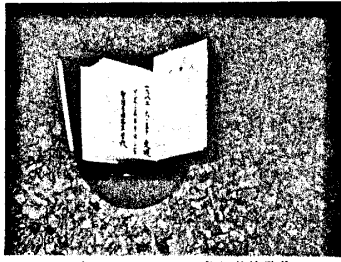
学園の現況

武道場新設、新校舎増設

事務局長 浅井昭裕

今年度の学園の計画のすべてについて、いよいよ具体的な建築工事の検討を進めている。増加する学生・生徒の自給車庫、教職員宿舎、樹木・草花の植栽、運動クラブ室、短大図書室、ヘルパー学園講堂、実習室、陶芸教室、体育器具庫、について今年度中に基本計画が立てられることとなる。

校舎の方針設計の概要が建築委員会から提案され、九月一日の着工をめざして設計図の製作にとりかかっている。



定礎式に埋められた聖書と讃美歌集

昭和四一年聖隷学園を設立以来既に三一九名の卒業生を世に送りこんでいるが、同窓生の拠りどころとなるものが未だ確立されていない。近年ようやくその力を一つにまとめたというの感が盛り上がり共同事務局設立準備の会がもたれるにいたった。

退職にあたり

平田きくの

福祉医療ヘルパー学園に四年間、然し半年毎の修了式で、八期にわたって生徒を送り出してきました。

この先生方、生徒の皆さんより学ばせて頂いた事を、心より感謝して居ります。年令を顧みず、志を持って入学して来られた生徒の多

かった事にのびのびと思われ、又、少教の生徒の為に心ふれあひが多く、修了後の交わりが深く続いていると云う事が感激です。長谷川理事長によって聖隷学園に灯された小さな一つの灯火は、消えようにならず、燃え出しています。福祉に携わる多くの人が、此の灯火に眼を向ける事を願って止みません。

近況報告

竹内 秀男

現在、豊岡中学校で一年三組を受け持っています。豊岡の生徒は、明るく素直です。特に一年生は元気がよく、私はそんな生徒達と毎日楽しく生活しています。参観会、家庭訪問、私にとって初めての行事が続いています。中学教師という仕事にもだいぶ慣れました。難しいことも数多くありますが、子供達と接してると、そんな苦労もどこかへふっとんでしまいます。これから、生徒と共に学習、部活に一生懸命取り組んでいきたいと思っております。聖隷学園の皆様にまたいろいろとお世話になることがあると思いますが、その時は又、よろしく

昭和56年度消費収支決算書

消費支出			消費収入		
科目	短大	高校	科目	短大	高校
人件費	247,659	120,297	学生・生徒補助金収入	221,764	120,409
教育研究費	51,757	44,991	手数料	7,532	2,316
管理経費	11,963	4,830	寄附金	17,566	4,200
借入金等	8,961	7,726	補助金	126,957	72,911
法人費	82	55	資産運用収入	4,780	1,429
資産処分	707	4,008	雑収入	6,353	12,803
計	321,129	181,907	繰越金	384,952	214,068
			繰入金	△56,294	△40,239
			繰出金	△6,299	△96,533
消費支出計	321,129	181,907	消費収入計	328,658	173,829
消費収支差	7,529	△8,078		50,829	502,487
地租・税・雑費	15,901	108,287			

昭和57年度消費収支予算書

消費支出			消費収入		
科目	短大	高校	科目	短大	高校
人件費	268,113	133,696	学生・生徒補助金収入	224,207	124,756
教育研究費	57,030	43,185	手数料	3,568	1,260
管理経費	13,374	7,073	寄附金	15,420	5,000
借入金等	8,484	17,939	補助金	122,468	161,773
法人費	51	34	資産運用収入	500	200
手備費	3,000	2,000	雑収入	500	200
計	350,052	203,927	繰越金	366,683	293,209
			繰入金	△23,436	△242,226
			繰出金	△159,748	△265,862
消費支出計	350,052	203,927	消費収入計	343,247	50,983
消費収支差	△6,806	△150,944		394,230	
地租・税・雑費	8,456	257,093			

武道場再建寄付金報告

昭和五十六年度に焼失した武道場の再建にあたり、多くの方々より御寄付を頂きました。御寄付を頂いた在校生、卒業生、一般及び教職員の方々に御礼申し上げます。

定礎式も無事に終わり、八月末の完成を待つのみになりました。折々の暇に御志に深く感謝する次第です。

尚、三月末現在の武道場焼失備品及び再建に対する募金状況は、左記のとおりです。

募金額 一三〇五〇〇円
昭和五十六年度在校生交際 一、三〇五〇〇円
卒業生 五五四、〇〇円

ヘルパー学園秋季生募集

ヘルパー学園長 津久井 十

本校の今年度の目標は次の三点であります。一、教室学習と施設活用を総合的に進める。二、看護婦と訓練を受けたヘルパー(ヘルパー)の役割を明確にし、病人・高齢者・重症心身障害者、地域の福祉を担う老人等の生活の援助と身のまわりの世話という社会的ニーズに中間医療提供者として対応すること。三、福祉を求められている中間医療提供者(現職、生活指導員、ホームヘルパー)の地位の確立を図る。以上の目標に對する具策は実習時間と期間の延長である。学びつつ実習し、実践し、成長を遂げたいと願っています。

一年間ありがとうございました

皆さんお元気ですか。聖隷の生活はどうですか。万事うまく進んでいるかと思っております。私はこの夏、ポトランド州立大学で、オレゴン州の教員免許を取得するの必要単位をすべて取りました。今は、家に居てホッとしているところです。出している日本のお菓子を思い、アメリカの食べ物も好きです。例えば、ブリッコなどはアメリカの女性にはありませんが、私は今でも

【福祉医療ヘルパー学園】秋季生徒募集

(昭和57年10月～昭和58年3月)
定員：30名 男女共学

入学試験・合格発表	8月16日(月)～9月16日(木)
願書受付期間	8月16日(月)～9月16日(木)
試験日	9月20日(月)
試験科目	1. 作文 2. 面接
合格発表	9月21日(火)

本校の募集は、学園案内を各高校・特別養護老人ホーム、教会関係等に送っていますが、応募者はまだまだというところで、需要が多く求人に応えきれません。人生行路にゆきなやむ方生活へ暖かい介護の手を差し出すこと。き甲斐のある仕事をお勧めします。

学園教職員人事

3・28(4)11キヤマスイスクール聖隷学園訪問(生徒十五名)。
4・7始業礼拝・4/8入学式。
4/11開校記念日・4/11/5/2第二回アメリカ研修旅行(参加生徒二十名)・6/29文化クワサー発表会・7/8/10期末テスト・7/20卒業礼拝・7/21/24ワーケーション。
3/7看護婦国家試験(二科84人合格・二科69人合格)・4/2入学式・4/5前期始業・4/20入学記念日・5/10/15ナインゲル祭宇築大学 薄井先生講演。
5/22西部看護学校協議会主催ヘルパー大大会電報短大4位。
7/23/31前期試験・8/2/9/11夏期休業。(専攻科)
3/7助産婦国家試験(14人合格)・4/2入学式・7/17/18/21夏期休業。(ヘルパー学園)
4/1入学式・5/10/8/28実習期間。(法人・事務局)
3/25学園教職員歓迎会・5/27永年勤続者表彰(教職員会議にて)・8/27夏期学園研修会。

◎退職
ごとうさまでした
(高校)
4・30 ジョナスモア 専任講師
1・31 井口 裕子 准職員
3・31 栗山 仁子 准職員
3・31 西田 晃 助教

◎就任
よろしくお願ひ致します
(高校)
4・1 風口 和雄 教諭
4・1 日下部 清孝 教諭
(短大)
4・1 八田 亨二 教授
4・1 松本 端初 講師
4・1 城ヶ崎 千代子 講師
4・1 原田 千代子 助手
(ヘルパー学園)
4・1 坂田 弘子 教員
4・1 堀口 路加 経営事務部長
4・1 村上 京子 助手
◎異動
専攻科から本科へ
4・1 堀 啓三 助手
◎研修
姓名 学年
4・1 昭58・3・31 助手
◎休職
清水 啓子 高校教諭
4・1 昭58・3・31 高校教諭
◎評議員
退任：ごとうさまでした
高校在任生父母 大久保貞司氏
短大在任生父母 八十浜俊一氏
就任(任期昭57・5・29/昭58・7・7)
高校在任生父母 花嶋 夫氏
短大在任生父母 鈴木隆輔氏
(高校)後援会
父母の会 花嶋 夫氏
副会長 鈴木 清氏
会長 佐藤 龍氏
後援会 佐藤 龍氏
副会長 佐藤 龍氏
会長 松本秀夫氏
藤田雅彦氏

新任あいつ

事務局長 堀口 路加
早いもので聖隷での生活を始めてから二月半。東京からの暮らしに慣れてしまっただけには、いろいろと戸惑いの多い日が続いた。私が聖隷を初めて知ったのは今から十一年程前の事になります。実際に学園事務局で仕事を与えられて、こうして毎日を送られている半任前までは、今にも思わなかったわねながらも元気に働けることを喜びと感じつつ、心あたらに頑張っただけのことと考へていました。まだまだ知らないうちにはありますが、よろしくお願ひ致します。

学園の行事経過

3/28(4)11キヤマスイスクール聖隷学園訪問(生徒十五名)。
4/7始業礼拝・4/8入学式。
4/11開校記念日・4/11/5/2第二回アメリカ研修旅行(参加生徒二十名)・6/29文化クワサー発表会・7/8/10期末テスト・7/20卒業礼拝・7/21/24ワーケーション。
3/7看護婦国家試験(二科84人合格・二科69人合格)・4/2入学式・4/5前期始業・4/20入学記念日・5/10/15ナインゲル祭宇築大学 薄井先生講演。
5/22西部看護学校協議会主催ヘルパー大大会電報短大4位。
7/23/31前期試験・8/2/9/11夏期休業。(専攻科)
3/7助産婦国家試験(14人合格)・4/2入学式・7/17/18/21夏期休業。(ヘルパー学園)
4/1入学式・5/10/8/28実習期間。(法人・事務局)
3/25学園教職員歓迎会・5/27永年勤続者表彰(教職員会議にて)・8/27夏期学園研修会。